

「巨大災害に備える都市づくり」とは

2014. **10.29** WED 18:00 ~ 20:00

会場: 建築家会館1階大ホール(東京都渋谷区神宮前 2-3-18)

参加費: 無料 但し懇親会会費は別途(同会場 20:00~21:00)

都市の防災対策は、阪神淡路大震災を経験して、過去の災害経験の上に知見を重ねてきた。近年の3.11東日本大震災や異常気象によるゲリラ豪雨、さらに竜巻や台風など度重なる災害をふまえて、防災対策の見直しが行われている。首都直下の地震災害は、火災災害とも言われるが、かつて多くの被害をもたらした地盤の低いゼロメートル地帯の水害対策も忘れてはならない。多くの人々が生活を営み、ますます複雑化、高層化している首都圏の防災対策はどうなっているのか。

さまざまな形の複合災害に備えるために、私たちは何ができるのだろうか。巨大災害に対する事前・事後の総合的な支援はどうあるべきなのか。現状を把握し、災害に強い首都東京のまちづくりを考える。

第1部

講演: 「巨大災害に備える都市づくり」

人口減少時代の防災・減災・復興

講演者: 中林 一樹

(明治大学特任教授・平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞)

第2部

パネル討論・・・司会 中田準一

～巨大災害に備える都市づくり～

パネリスト: 中林一樹(明治大学特任教授)

パネリスト: 庫川尚益(建築家).....木造密集地の課題

パネリスト: 中村利道(マンション管理士)・・・災害とマンション

パネリスト: 岡本正(弁護士).....都市と災害時要援護者

写真: 阪神・淡路大震災 神戸市長田区の火災状況